

『ハートフルなまちづくり』をめざして——

公明党堺市議団

みやもっちゃんだより

第38号
2015年

堺市議会議員

宮本恵子

堺市北区百舌鳥赤畑町2丁92-1-605

市民相談◎市役所控室／当番日毎週月曜日☎228-7203（直通）◎自宅事務所／☎252-0780

※平日の日中は市役所へお電話ください。不在の時は連絡先の伝言をお願いします。

第5回 議会報告会が開催されました！

10月25日（日）午後1時～3時 堺市議会本会議場・委員会室にて

第1部 議会報告

平成26年度決算審議および9月定例会で審議した
主な内容を報告（20分程度）（下記、記者会見記事参照）

第2部 議員との懇談

各常任委員会ごとに分かれ、市民とテーマに沿った
意見交換を実施。（60分程度）

▶第1部（本会議場）



▶第2部の様子

私の所属する健康福祉委員会では、「がん対策」「子育て支援」「介護予防」について議論。「障害児の入所施設が少なく、ショートステイで
きる施設がほしい」「母親が、がん患者になった時の育児をどうするか？」など、
様々な意見をいただきました。今後の市政に反映すべく取組んでまいります。

▶閉会あいさつ

議長とともに記者会見を行いました

平成26年度決算について

◎35年連続の黒字。また、健全化判断比率の指標においても政令指定都市でもトップクラスの水準を維持。

◎しかし、景気回復の実感が地域経済に十分浸透しているとは言えず、地方自治体を取り巻く環境は依然として厳しい事は言うまでもない。

◎市税収入の横ばい傾向が続く一方で、社会保障関連経費は年々増加傾向にあるなど、厳しい財政運営が予想される。

◎いかに歳出を抑え、歳入を確保することで財政の安定化が図られているのか、議会として、より一層監視機能を強化し、種々議論を重ねていく必要があると考えます。

▶9月29日記者会見の様子



平成28年度予算編成について

◎今後、生産年齢人口の減少による市税収入の減少、社会保障関係費の増加、加えて高度経済成長時代に整備した多くの公共施設が更新や大規模改修の時期を迎える。

◎既存の枠組みや従来の発想にとらわれることなく、ゼロベースで仕事のあり方を見直し、事業の再編・再構築を行うとともに、歳入の確保に取組むなど、引き続き行財政改革を推進することが重要です。

保育所待機児童対策 (9月14日)

“人口減少時代における保育所待機児童対策” について(健康福祉委員会で委員間討議)

保育所待機児童をゼロに! 堺市において、この取組みは、まだまだ必要です。

1971年~74年の第二次ベビーブームに生まれた女性は今、40代前半に。

今後の出生児数は減るものと思われる中、いかに適正な保育所整備をするべきか! 今後も議論が必要です。



小規模保育施設を視察! (8月19日)

(健康福祉委員会)

板橋区にあるMeisei小規模保育施設は、明星幼稚園との連携で一貫した教育・保育をめざし昨年の12月にオープン。

この施設を運営しておられる幼稚園の園長先生は「待機児を解消したい一心でやっています!」と話してくださいました。



「ピンクリボン街頭」 (10月19日) 乳がん撲滅推進月間!

堺市では、2012年に「がん対策推進条例」を制定し、がんに関連した相談体制や、がん患者の就労支援などの取組みを推進。また、市内在住の30歳以上の女性を対象に乳がん検診を実施しています。

チラシ配布中にお話を聞かせてくださった方は、「私もがんにかかったんです。あれから10年が経ちますが、頑張ってきて良かった!」と…。早期発見、早期治療の重要性を話してくださいました。



堺東駅ローターにて

『生きるの教室』授業 (10月13日) ～命の大切さを感じてみよう!～

堺市立大泉学園(小中一貫校)9年生の特別授業を視察。

がんの権威 東京大学大学院 中川恵一准教授の貴重な話し、25歳でがんの宣告を受けた岸田さんの体験談など50分授業×2コマはあっという間でした。

中川先生と生徒の約束。それは ～「がんは、男性では3人に2人、女性では2人に1人がかかる。早期発見で90%治せる。定期健診を怠りなく受けてほしい。」と、大切なお家の人に話そう!～ です。

授業を観て、生徒は命の大切さを理解するとともに、家で話せれば親子の絆は間違いなく強くなる、と考えます。



祝敬老の日 皆さま、益々お元気で!

地域の集いでは、市長も来られ、プロ顔負けのマジックショーに、会場は笑顔一杯。「来年も、一人も漏れなく元気で会いましょう!」と挨拶しました。

堺市の100歳以上は325人。その内、男性は30人のみで、「女性は強くて長生き」にうなづけますね!

堺市の高齢者数は221,247人、高齢化率は26.13%と全国平均とほぼ同じです。



第42回堺まつり開催 (10月17日・18日)

堺市の三大祭りの一つである堺まつりが秋晴れのもと開催され、副議長公務として2日間多くの会場へ挨拶に。大パレードでは、5名の堺観光コンシェルジュの皆さんが花を添えてくださいました。

また、堺市内にあるベトナム領事館をお借りし、海外の大使や総領事をお招きし、堺の歴史文化を見ていただきました。

ベトナム全権大使やベトナム総領事は、日本の着物に大変興味を持たれ、様々な問いかけにお話も弾みました。



堺市立総合医療センター・堺市消防局救急ワークステーション・堺市こども急病診療センター 開院式典に出席 (6月20日)

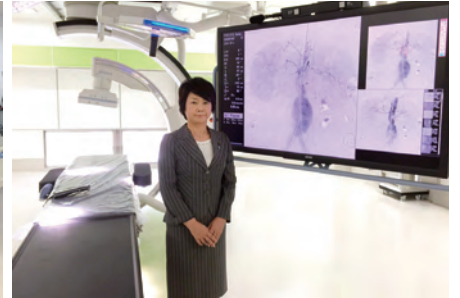
市立堺病院は大正12年に堺市立公民病院としてその歴史がスタート。平成24年には独立行政法人に移行。

24時間365日救急医療の最後の砦（三次救急）として、救急患者を受け入れます。

7月1日の開院を前に内覧会も実施されました。地上9階地下1階、病床数487（感染症7床、救命救急30床を含む）



集中治療室ICU（8床）の副部長である
臼井ドクターに話をお聴きしました。



放射線治療装置（リニアック）
最上位機種です。

堺市大浜公園相撲場 (8月30日) 世界相撲選手権大会で祝辞!

前日のジュニア相撲に続いて、本日は団体トーナメントと個人決勝戦など、取り組みがありました。

「勝っても負けても対戦相手を尊敬する」という相撲の精神で戦うことを期待します。」と挨拶しました。



堺市0157堺市学童集団下痢症「追悼と誓いのつどい」 (7月12日)

亡くなられた3人の児童を悼みご冥福をお祈りし、献花をさせていただきました。

平成8年7月、学校給食に起因する腸管出血性大腸菌0157による学童集団下痢症が発生し、児童7892人を含む9523人の方々が罹患されました。

二度とこのようなことを繰り返さないために、また決して忘れず事件を風化させないことを誓う日となりました。



創立30周年 (10月24日) 「堺看護専門学校」の式典に出席!

～心身を病める人を理解するために「心」で患者に接する看護職員を育成～が教育理念。

高い知識や技術を備えるだけでなく、患者の心に寄り添う看護師となれる事を強く願います。と、祝辞を述べました。

複雑多様化する医療ニーズに応えるために、議会も全力で議論していかなくてはなりません!



アセアン民間大使が、堺市議会を表敬! (10月5日)

7回目の交流はインドネシア、ラオス、フィリピン、タイ、ベトナムの大学生各2名と教員各1名。約2週間の予定で、小中学校での交流授業や市内視察を前に議会の本会議場で楽しい対話が行われました。



一人の声が力に！安全安心のまちをめざして！

街路灯を設置し
まちを安全に！

区画整理地域で防犯灯の設置がなく「真っ暗で怖い」との声をいただき、街路灯2基と合わせ飛び出し注意喚起を設置。

北区長曽根町3080、金岡町3039付近



カーブミラー2基設置！

新しい住宅地で子育て世代も多いことから、安全対策の要望をいただく。 南花田町522



交差点の安全対策1

住民の方より要望いただき、路面表示2カ所と電柱巻付け表示を設置。

北区南花田町1672

交差点の
安全対策2

出合頭の事故多発、注意喚起の路面表示を設置
百舌鳥赤畑町4丁

車いすやベビーカーに
優しいまちへ！

310号線歩道の安全対策

車いす利用の方など近隣の皆さまより要望いただき改修。

北区百舌鳥梅北町5丁



プレミアム商品券は税金を使つての取組みであり、今回の堺市の取組みや対応には疑問を感じます。

この事業については、様々な場面で市民の皆様にお話を伺いました。商品券が当たった方は、当たったことをあまり言わず、声が小さい、はずれた方はその逆が多かったと感じました。

買い物途中に、レジで商品券を使つておられる方に遭遇します。最近の売上高の伸びは、外国人観光客の影響も勿論ですが、プレミアム商品券が消費を喚起していることは間違いないと考えます。

ちなみに我が家は、母を含め6人家族が申込みをしましたが、全員はずれました。

(市の回答)

販売方法については、国が示している事業内容を踏まえ、安全面・購入機会の公平性を図るため、「先着順」ではなく「応募」「抽選」による「予約形式」の販売方法を採用。商品券予約応募受付時のチラシなどに、応募多数の場合は抽選と告知していたことから、希望冊数を申し込むようになっていたことから、抽選を行い、申込み冊数どおりの引換販売を実施します。

販売冊数 200,000冊 (子ども・障害児分含む)
うち一般申込件数 126,928件 (当選 39,767件)
当選冊数 140,000冊

結果的に申込者1人につき1冊とすれば
全員当選にすることができたのでは？

堺市プレミアム商品券について

公明党堺市議団は事業開始当初より、市に対し

- ◎ 抽選方法の公開を行うこと
- ◎ 税の公平性の面から、複数冊申し込んだ人を複数冊当選とするのではなく、申込者1人につき1冊ずつ当選とすること
- ◎ お知らせなど市民への広報を公平にしっかりと行うこと

など、市へ対応を求めています：